

2012

岐大通

2012J2 順位表 第31節

勝点、得失点差、得点、失点、岐阜戦の戦績 岐阜から見て

1	甲府	61p	+20	44	24	H●	△△
2	湘南	57p	+18	49	31	A●	
3	大分	55p	+15	45	30	H●	△△
4	山形	55p	+10	45	30	A●	
5	京都	55p	+11	43	32	H●	
6	千葉	54p	+24	44	20	○	H△
7	東京V	53p	+17	51	34	A●	
8	横浜FC	50p	+11	46	35	H●	
9	栃木	49p	+5	36	31	A△	
10	岡山	47p	+2	27	25	○	H●
11	北九州	43p	0	36	36	H○	
12	徳島	41p	0	31	31	A●	
13	松本	41p	-4	28	32	H●	
14	水戸	40p	-3	33	36	H●	
15	福岡	37p	-6	43	49	A△	H●
16	草津	37p	-6	24	30	H△	△△
17	熊本	37p	-8	28	36	A●	H●
18	愛媛	34p	0	36	36	H△	△△
19	鳥取	24p	-39	23	62	H△	A●
20	岐阜	23p	-25	17	42	—	—
21	町田	22p	-24	21	45	H○	
22	富山	19p	-22	25	47	A●	H△

2012 J.League Division2

第32節 東京ヴェルディ 戦

9/2 (日) 19:00~

@岐阜メモリアルセンター長良川競技場

F C 岐阜大好き通信 (岐大通)

9/2号

編集発行: 『岐大通』製作委員会

今号の製作担当:

ささたく & 吉田鑄造

today's guest : 東京ヴェルディ 2011 J2 16勝 1分 1敗 勝ち点 59 第5位

1969年に創設された『読売サッカークラブ』は、企業のサッカー部が主流の日本サッカーリーグ (J S L) において異彩を放つ存在だった。J S L 優勝5回、天皇杯優勝3回、アジアチャンピオン1回の実績を残し、Jリーグがスタートした際は『ヴェルディ川崎』として2年連続総合優勝。代表選手を数多く擁し、実力・人気ともに間違いなく日本サッカーをリードする存在だった。しかし、その後は徐々に成績は下降線となり、ついに2005シーズンに1位となりJ2降格。2年をJ2で過ごした後にJ1復帰も1年で再降格、以後J2。(吉田鑄造)

ホームでの千葉戦、アウェイでの愛媛戦と、2戦連続でドローに終わったF C 岐阜。本来なら勝利の方が望ましいのは間違いないが、引き分けとはいえ勝ち点を少しずつ積み上げた結果、順位は20位に上昇して、なんとか「降格圏」は脱出した。しかし、2位との勝ち点差はわずかに1。まだまだ、降格圏を完全に脱出できた訳ではなく、厳しい状況に変わりはない。1試合1試合、全力を尽くして戦うことで勝ち点を積み上げていくしかない。

さて、本日の対戦相手である東京ヴェルディは、現在J1昇格争いを行っているチームだが、岐阜にとっては非常に相性の悪い相手だ。通算対戦戦績は0勝2分6敗、3得点1失点。しかも、2010年以降は5連敗中と引き分けにすら持ち込めずに散々な敗戦ばかりしており、今まで対戦したJチームの中では最悪の相性といってもいい。しかし、この(残念ながら)「残留争い」をしているチーム事情では、過去の対戦成績を気にしている余裕はない。ましてや、クラブの経営不振の責任をとって、経営陣のトップが交替した直後のホーム戦だ。無様な試合など許される訳がない。

今節は、今季DF陣の柱である#25C B関田が累積警告により出場停止。CBコンビを誰で構成するのが選手起用の鍵だろう。また、#14井上と#6服部にとって東京ヴェルディは古巣。いつも以上の活躍を期待したいところだ。また、ヴェルディの#3DF深津康太は、かつてF C 岐阜に所属(2007~2008年)した選手だ。彼も負けじと燃えているだろう。勝ち点を得るためには、非常に厳しい試合になるだろうが、しかし、ここで結果を出してこそ、チーム存続の報に報いることになるだろう。選手たちの奮起に期待したい。(ささたく)

F C 岐阜サポによるゲリラ的U s t 配信番組

今シーズンからのサポーター発信企画として、基本的にホーム戦の前日に、インターネットの動画共有サービス「ユーストリーム」を利用した手作り感満載の番組を下記アドレスで放送しています。サポーターの『生の声』をお楽しみください。

<http://www.ustream.tv/channel/sstak12-fcgifu>

次回は9/16(日) 21:00開始の予定です。

◇『岐大通』バックナンバーのお知らせ

すべてのバックナンバーを「吉田鑄造総合研究所」でpdfファイルを公開しています。配布時はA3サイズだったものも、こちらではご自宅などで印刷しやすいよう、すべてA4サイズに修正いたしました。下記アドレスをご参照ください。

<http://www.cyic.co.uk/fcgifu/gidaidohri.html>

次回 HomeGame

第3節 栃木 SC戦

9/17(月・祝) 19:00

@長良川球技メドウ【いつもの「メモリアル」ではありません】

投稿募集! gidaidohri@hotmail.co.jp

本庄工業株式会社

<http://www.honjo-woodream.com/>

ALADDIN

何も無い店だけど...

心が咲く...

何も無い店だけど...

心癒される...

忘れかけていた喫茶店がある

岐阜市昭和町3丁目(木ノ本公園東)

「いらっしゃいませ」より
「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。
『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から
徒歩3分。
休: 日曜日 (今日はお休みです)

岡田歯科医院

岐阜市加納新本町 1-23
tel: 058-273-8998

【第30節】岐阜 0-0千葉

●水曜の平日ナイター、しかも18時キックオフってのは、一体何の罰ゲームなんでしょう（苦笑）。まあ僕はホーム開催だからまだマシだけど、千葉サポの方はさぞかし大変で、それほど来ないだろうなあ…と思ってたら、予想以上にアウェイ席が埋まっていた、びっくりした。やはり「J1昇格に向けて3連敗は許されない」「岐阜にはフクアリで負けているから必ずリベンジを」なんてサポ心理が働いて、多くの千葉サポがメモリアルにやって来てたのかもしれない。

さて…試合は、（残念ながら）序盤から若干千葉が優勢だったと思う。#8MFハンジェが累積で欠場し、#6MF服部のワンボランチだったためもあったのか、セカンドボールも千葉が多く拾っていた。けれど、岐阜の選手たちは前線から精力的に走って守備をし、致命的な決定機は作らせていなかった。

一方で攻撃は…うーん、やっぱりアブダにボールを預けると、他の選手はそこからボールが出てくるのを待てるような気がする…（溜息）。必ずと言っていいほどアブダには複数の選手がチェックに行くので、フリーになってるウチの選手がいるはずなんだけどなあ…（更に溜息）。ボールを奪ってから攻撃への切り替えも、カウンターを恐れてなのか遅く感じるし、安直にサイドにボールを回してしまう傾向があるようで、敵に中央を固められてサイドに追いやられてボールを奪われるシーンも気になった。もっと攻撃の選択肢を増やしたり、いわゆる「無駄走り」を惜しまない動きがないと、攻撃力の向上は図れないのではないだろうか。

しかし、やはり連戦の疲れはアウェイ2連戦となる千葉の方が強かったと見るべきか、あるいは千葉といえども連敗中のチームは調子が悪いのは当然というべきか。徐々に千葉の選手たちの動きが鈍くなり、後半30分を過ぎると、ピタリと足が止まる。ここからは岐阜の時間帯が続いたので、「あと少しでゴール！」と思うシーンも何度かあったけれど、精度が悪かったり、あるいは思い切ってシュートを狙える場面でパスを選択してしまう（しかもパスミスでボールを失う）場面が相変わらず続いたのは残念。結局、お互い無得点で試合終了。「あと少しで千葉に勝てそうだった」という悔しい思いと共に、こういった試合を勝ちきれないのが、今の岐阜の力量や順位に現れているんだろうな、とも思った。

けれど、岐阜の選手たちの「試合に勝ちたい」という思いは、プレーの随所で感じる事が出来たのも事実。勝利という結果も欲しいところだけれど、勝ち点1を積み上げたという部分も含めて、かろうじて次第点、といったところだったろうか。（ささたく）

●う～んあの千葉の出来なら勝ち点3取りたかったなあ…。でも90分通して見たら、千葉の伊藤のFKがクロスバーを叩いたりとか荒田のシュートを時久が弾き出したりとか、岐阜にラッキーな点が多々あったことを考えると、スコアレスドローもやむなしといったところか

それにしてもまた得点力不足が深刻になってきている。アブダもケガがあってなかなか使いづらいようだし、ダニロはまだその実力を発揮するには至っていない。苦しい状況は続くが、夏の暑さをスカッと吹き飛ばすような気持ちのゴールが見たい！最後までガムシャラなプレーを！そして勝ち点3で皆で万歳四唱を！（岐阜の誇り）

●ホームでの連戦。中二日の厳しいスケジュールとはいえ、草津とは引き分け、岡山には敗戦と、勝ち点を積み重ねられなかった後でのスコアレス・ドロー。自分の中では、残り13試合で勝ち点13は絶対必要だと思っていたから、最低限の結果は出せたと言えなくもないが、今日の千葉、特に後半の出来なら勝っちゃえよ……というのが正直な気持ち。

なんで、シュート撃たないんだろ？日曜のゾノのゴール見てただろ？撃てばコースが変わってゴールインもあることはわかってるだろうに。仮設スタンド（進入禁止）のおかげで密集した観客の熱気も伝わってか、終盤は押していたから、さらに悔しい。そして、あれだけセットプレーがあったんだから、一本くらい何とかしてくれ～というのが切実な気持ちだ。それでも、なんとか無失点に抑えてくれた。前半を無失点で抑えることがウチの勝ち点奪取パターン

（それはそれでサビシイが）。ただ、前半終了間際のファールで危険な位置からのFKを与えて「3試合連続のディショナルタイムでの失点なんてゴメンだ～！ゼッタイ死守！！」と念じてたら何とかなって、とにかく上出来の前半だった。だからこそ、後半何が何でも一点だったんだが。一時間遅れで始まったボトム4の試合で、町田×鳥取がイーブンなのはともかく、富山リードの報には正直最下位転落を覚悟したけど、ホントありがとう＞福岡（笑）。

それにしても、千葉。昨季は水戸と横浜の優しさで生きていたが、今季は千葉に負けなし。1勝1分勝ち点4。特にフカアリの試合は感動した。本当にありがとうございました。しかし、ホントうらやましい戦力だよね。GK櫛野から、大岩-山口-竹内-高橋のDFライン。高橋って浦和から借りた若いものでしょ？そして、中盤に坂本がいて兵働がいて、2トップが荒田とリカルド・ロボ。で、サブに勇人、米倉、深井に藤田祥史。なんて、ゼイタクなメンバーだよ。なのに、リーグ戦での対戦成績は2勝3敗1分。岐阜から見て相性のいい相手は少ないので、来季もJ2にいてください。センターサークル応援団へのコールもありがとう。実はJ2も岐阜も大好きなんですよ？＞千葉さん。（ぐん、）

●後半なかばからの千葉の見事なまでの止まりっぷり（苦笑）に「この試合獲ろうぜ！」とスタンドから叫んでたけど、相手GKを脅かすシーンは実はほとんどなくて。残念だけど「いまはこれが精一杯……」な感じがして、少々寂しかった。

試合後のインタビューで、選手も監督も「戦えていた」と前向きな感想だったけど、「戦えていてコレ」という部分を考えると、あまり前向きにはなれない。シーズン開始の頃と同じような「試合に勝つ絵が描けない」状況は厳しい。（吉田鑄造）

【ユース】活動しています！

●皆さん、お久しぶりです。我がFC岐阜ユースU-18（以下岐阜ユース）は夏休み期間中は公式試合がありませんでした。当然その間ずっとオフだった訳ではなく、台湾合宿や練習試合等を精力的にこなして、レベルアップを図っていました。そして昨日からG-2のリーグ戦が再開されている筈です。県サッカー協会のサイトを信じれば（苦笑）、この試合で岐阜ユースが引分けor勝利で来季のG-1への昇格が確定している筈です。吉報が届いていると良いな～。

ちなみに次節は9月8日（土）にG-2リーグの最終節となり、岐阜工業Bと対戦します。こちらも勝ってG-1昇格に花を添えて貰いたいと思います。

そして、そろそろJユースカップの日程も発表される時期ですね。実はこれまで岐阜ユースはJユースカップで勝点を上げた事がありません。今年こそは是非初勝点、初勝利をあげ、あわよくば決勝トーナメントへの進出をして果たして欲しいですね！

最後になりましたが、2010年8月28日にFC岐阜スティックルバックU-13所属の桐山周也選手が水難事故にあって亡くなられてから2年経ちました。早いもんですね。貴方の為に私が出来る事はあまり有りませんが、命日に貴方の事を思い出す事は出来ると思っています。合掌。（シュナ）

【第3節】愛媛0-0岐阜

●試合後の挨拶に来てくれた選手たちには「次勝とう！」と叫んでた。あとは「時久、ありがとう!」。それしかなかった。

どうして、ニンスタでは点が取れないんだろう? J参入から5年。このスタジアムでの無得点記録を継続することになってしまった。スコアレスドローは2回目だけど、それでも今夜の勝ち点1は試合内容から言うベストな結果としなきゃいけない。残念だけど、得点が入る雰囲気はほとんど感じられなかった。両チーム共に7月から勝利がないモノ同士の戦いだったから、スコアレスドローは妥当……とは、とても言えない。現地での見た目では、ほぼ7割近くボールを支配された感じ。前半5分過ぎた辺りの決定機を決められてたらズブズブになってたんじゃないか? オフサイドではない完全な1対1だったし、横から見てたんで「ヤラれた……」と、一瞬固まった。外してくれてホント助かった。

試合を通じてどの選手も体調が重く感じられ、夏場の連戦、そして鉄道での移動とはいえアウェイ愛媛への遠征は相当応えているように見受けられた。セカンドボールをことごとく拾われ、攻撃のボールはつながらず、正直よく90分持ちこたえたと言うしかない。試合中に相手がボールを保持されている時は、選手が落ち着くよう、「焦るな! 慌てなくてもいい!」という意味でスローな「エフ、シー!、ギフト!」コールをしているが、この試合はそれの繰り返しばかりでスタンドで声を出している方もかなりキツかった。

風が吹いてくれて助かった……(苦笑)。
そんな状況で得た勝ち点。今は勝ち点を1つでも多く積み重ねなければならない。例え、石にかじりついてでももぎ取らなきゃならない。そういった意味ではミッションは果たした。そうすれば、この夜のように当面の敵が3つとも負けることだってある(もちろん、その逆もありえるが)。残留に向けて残り1試合で勝ち点11。この辺が最低限のミッションかな? と考える。が、これも今後の対戦相手を見ると、かなり厳しい要求になるよね。そして、この試合で警告を受けた関田は2試合有給の出場停止……。残された選手の奮起を期待するしかない。

愛媛戦前に隣の球技場で開催された天皇杯・愛媛県予選決勝を観戦。昨年まで「しまなみ」だったFC今治の監督は、よく知ってる方だったので(笑)挨拶をしたら、「あー、今日は隣で?」という返事。その後、数名の今治サポさんとも挨拶。試合は8-1で今治の圧勝。フィジカルが違いすぎて、どうしようもなかった。国営放送の中継も入っていたが、ただのサッカー好きなら途中でチャンネルを替えたかもしれない内容。けど、準優勝チームが得点した時は盛り上がった。長良川ではわからなかったが、木村さんがライン際まで出てきて大きな声とゼスチャーで指示を飛ばしていた。新鮮な感じがした。(ぐん、)

J2とJFLの入れ替えについて。

●今シーズン終了時から、J2とJFLの間で入れ替えが実施されることになっています。現在、FC岐阜は残念ながらその入替制度と無縁な順位というわけではありません。そこで、『岐大通』読者の皆様に「2012シーズン終了時における入替制度」について、ちょっとお報せしてみたいと思います。

来年の2013シーズンから、Jリーグでは「クラブライセンス制度」が開始となります。「経営状況が健全か」「試合を行う会場の規模は」などがライセンス交付の判断材料になります。このライセンスは一度もらえればOKというわけではなく、その後も「債務超過」や「3年連続の赤字決算」などの審査が毎年行われて、その結果によってライセンスがもらえなくなりますが、とにかくまずはこのライセンスが交付されないと2013シーズンのJリーグに参戦できません(FC岐阜の場合、この『2013シーズンのライセンス』に関してリーグから厳しい判断が下され、社長&GMの辞任となったわけです)。

今年(2012シーズン)のJ1/J2全40クラブとJFL所属の『V・ファーレン長崎(以下「長崎」)』『カマタマーレ讃岐(以下「讃岐」)』の合わせて42クラブがライセンス申請を出しました(※「Jリーグ準加盟」とは別の制度であることにご注意ください。準加盟は他に『長野パルセイロ』『SC相模原(関東1部)』が認められています)。9月末にライセンス交付の可否が決まるそうですが、ここでは申請した42クラブすべてにライセンスが交付されると仮定します。すると、あとは成績面での判断となります。

8月末現在のJFL順位表です(上位のみ)。

1位: 長野パルセイロ	24試合: 勝ち点 51
2位: V・ファーレン長崎	22試合: 勝ち点 46

3位: SAGAWA SHIGA FC	23試合: 勝ち点 39
4位: Y.S.C.C.	23試合: 勝ち点 36
5位: ソニー仙台FC	23試合: 勝ち点 36
6位: Honda FC	23試合: 勝ち点 36
7位: カマタマーレ讃岐	22試合: 勝ち点 35

「ライセンス交付」を受けたJFLクラブが2位以内でシーズンを終えるとJ2昇格の権利を得ます。「長崎」「讃岐」がともに2位以内で終えると、J2の最下位は自動降格(JFL優勝が自動昇格)、J2の21位はJFL2位との入替戦となります。現状では「讃岐」が2位圏内と勝ち点1差あって少々厳しいようにも映りますが、最大試合消化のチームより3試合も多く残しているため、まだまだチャンスありとみます。

「長崎」「讃岐」のどちらかが2位以内で終えると、その場合はそのチームの順位によって変わってきます。

◆「長崎」か「讃岐」がJFL優勝の場合=J2最下位は自動降格(J2の21位は残留)

◆「長崎」か「讃岐」がJFL2位の場合=J2最下位との入替戦(J2の21位は残留)

今年(2012シーズン)のJFLは奇数チームでの開催のため、チームによる消化試合数に差があり、長崎×横河武蔵野が濃霧のために順延されていることもあって順位表が少々わかりにくくなっています。『岐大通』では、今後「FC岐阜のJFL降格」の可能性がなくなるまでJFL上位の状況も紹介していきます。(吉田鍛造)

【特集】経営陣交替について

●岐阜の経済界の支援により、なんとか今シーズンを乗り切るメドはついた。と同時に今西社長が退任という犠牲を払うことになった。

まずは今西氏のこれまでの多大なるご苦勞に敬意を表したいと思う。そもそも今西氏は当初岐阜には顧問という立場で来たわけで、まさか社長の座に就くなどとは思いませんでした。それを前社長の鈴木氏が退任した後に、誰もなり手がいなかったが為に自ら火中の栗を拾わざるを得なかったわけで、その点に関しては気の毒であったと言わざるを得ない（この点に関しては、今西氏を岐阜に招聘した森山泰行氏にも多少なりとも責任はあるのではないかと考えている。ただ、森山氏も不本意な形でチームを去る形になったので、多少同情するところはあるのだが）。そして半ば騙し討ちのように社長に就いて、チーム編成や資金繰りが苦しい中本当に気苦労が絶えなかったことだろう。もっと早く経営に明るい方を社長に据えることができていれば、もっと早い時期に経済的な支援が得られていればという思いが強い。ただ社長というポストに就かれた以上、どうしても経営責任というものは付いて回るものであるのだからこういった事態を招いた責任は逃れることはできない。

晩節を汚す形になってしまい非常に申し訳ない思いもあるが、とりあえず顧問という形でしばらくはチームに残っていただけるのは非常にありがたい。残り少ないこととは思いますが、今西氏にはもう少しこのチームの為に力をお貸ししたい。そして、薫田新社長の下今度こそ官民一体となって安定した経営を、そして県民のチームとなるようご尽力いただきたい。そして我々サポーターも各々可能な範囲で協力できることは協力していくことが大事なことだと思う。何としてもこのチームをＪリーグに残すために。

（岐阜の誇り）

●まずは今回支援を打ち出してくれた岐阜の政財界の皆様方、本当に有難うございます。これからも末永いご支援の程を宜しく願います。そして新しく来て頂ける薫田新社長殿、こういった方かよく存じ上げませんが、何卒宜しくお願いします。

また今回取締役を辞任される今西さん、服部さん。お疲れ様でした。今西さんが本来縁もゆかりもない岐阜に来て頂けたという「偶然」があったからこそＦＣ岐阜は一直線にＪリーグに加入出来たのだと思っています。そして服部さんがチームのクラブライセンス取得の為に色々な条件整備を一つずつ進めて貰ったおかげで、いくつもの困難なハードルをクリアしてここまでこれたのだと思っています。いま岐阜にはＦＣ岐阜というサッカーのチームがあります。そして２週に１度数千人の観客と一緒に長良川競技場でそのプレーに一喜一憂する事が出来ます。その事に深く感謝しています（「喜」より「憂」の方が多い気がします）。ただ何年経ってもクラブの収支が安定しなかったのも事実です。今回その責任を取る形での取締役退任については有る程度止むを得なかったのかな？とも思います。でも、だからと言ってお二人がチームに残していったくれた「功」の部分は決して忘れません。ご苦勞な事ばかりで大変だったと思いますが、お疲れ様でした。（ヤックル）

●8/19（日）岡山戦のあと、一気に動き出したクラブの経営危機やクラブライセンスそして経営陣交替の問題。１週間に及ぶ、日々刻々と状況が変動していく報道で、情報が混乱しかけたのは僕だけじゃないだろう。さて、とりあえず現在流れている情報を整理すると…

①今季の資金不足額１億５千万を岐阜の財界が出資することが決定。

②経営不振の責任をとって、今西社長と服部GMは8/31で辞任、今西社長は請われて顧問に。

③新社長には、元岐阜市職員の薫田大二郎氏に。

…といったところだろうか。ここまでの動きをみると、残念だけど、仕方ないんだろうな…というのが、僕の正直な気持ちだ。今西さんは、クラブをＪＦＬからＪ２へと昇格させてくれた一番の功勞者であることは間違いないけれど、2008年にＪ２に昇格した以降、毎年資金不足や経営危機が報道されていたのも事実で、経営陣のトップとして責任をとらなければならないのも判る。しかしながら、（聞くところによると）今西さんは地元岐阜の人間では誰も成り手がいなかったから、社長を引き受けたということで…そういった意味では、「クラブライセンス危機」にまで発展しなければ、クラブ支援の動きが本格的に具体化してこなかったことに対して、なにかやり場のない思いも感じてしまう。社長を辞任してクラブを完全に去ってしまうのかと不安だったが、顧問に就任するということで、僕は何となくホッとしている。今後は、新しい社長が地元出身者ということで、ＦＣ岐阜に対する行政や財界の支援がいっそう増えていくことを、そしてＦＣ岐阜が今後も（少しずつでもいいから）発展していくことを期待したいと思う。また、そうでなければ、今西さんが「責任をとった」意味がない。今西さん、まずは重荷だった社長の座を降りて、少しゆっくりしてください。今まで、縁もゆかりもない土地でＦＣ岐阜というクラブを育てていただき、本当にありがとうございました。そして、今後も（無理のない程度で）ご協力をよろしくお願いします。（ささたく）

●かねてから話が出ていたが、ついに今西さんの社長辞任が決まった。様々な思いがないまぜになって整理がつかないが、ホッとしたというのが妥当かもしれない。もちろん、感謝の気持ちは忘れたことはない。縁もゆかりもない岐阜に、こんなにも長く深く関わっていただけたんだから。ただ、それだけに、誰もが幸せになれなかったのが残念だ。今西さんがいなかったらＪリーグへの参入はなかった、とは言わないが、もっと多くの紆余曲折があったに違いない。ただ、経営までをも今西さんに任せてしまったことに悔いが残る。選手の強化に専念していただく体制が整えられなかったのが残念と思いつつ、その半面で09年からの選手の構成、補強にはいささかの疑問が残るとというのが自分個人の正直な気持ち。今でも、淳至や和正、それに正吾の移籍は納得できていない。「選手を見る目には自信がある」と言っていた今西さんだが、指揮官についてはどうだったか。『Ｊ１昇格３年計画』というテーマを掲げながら、継続性も積み重ねもない１年ごとの監督交代。そもそも、「身の丈経営」を言うなら早急なＪ１への昇格が岐阜にとっての最良な選択肢かどうか？「いつかはＪ１」と思うが、それ以上に『Ｊリーグがある街』としての岐阜が果たす役割。地域のコミュニティとして、プロのクラブがある喜び。そういった、もっと身近なつながりを深め、足元を固めていくことこそが肝要だったように思えてならない。せっかく、今西さんという稀有な存在がいたのに生かすことができなかった。残念な気持ちでいっぱいだ。愛媛戦で試合後の挨拶が終わり、選手が引き上げ、ダンマクのかたづけを始めようとした時、今西さんと服部GMがわざわざ来てくれた。前述したような言いたいことがないワケではない（いろいろある）が、それでもその場にいた全員が拍手で迎え、感謝の言葉を口々に叫び、再び拍手で見送る。ボク自身もその場にいたが、同じように拍手を送った。それしかできなかった……。 （ぐん、）